

提言 地域防災力の向上を目指した福知山公立大学との連携

少子高齢化、地域コミュニティの担い手不足などが懸念される中、自然災害の激甚化・頻発化に対応するには、「自助、共助の考え方」が非常に重要となる。

このため、専門的知見を活用した地域防災研究を行われている「福知山公立大学地域防災研究センター」と連携し、地域住民への防災セミナーの開催など、自助や共助に対する市民意識の向上に取り組まれない。

提言に関連する市の取組内容

(1) R 7 年度の取組内容

福知山公立大学地域防災研究センターに助言をいただきながら、地域住民とともに、「地区タイムライン」や「防災マップ」の作成を進めており、市民の自助・共助に対する意識の向上に取り組んでいるところです。

また、10月19日に開催する「舞鶴総合防災訓練」には、同大学からも参加いただき、展示訓練の実施にご協力いただくほか、訓練内容に対する講評をいただく予定としており、同大学が有する防災に関する知見を本市の防災力向上につなげてまいりたいと考えております。

また、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会と連携して、本市で実施する自治体職員向けの防災に関する研修事業について、同大学へ講義の依頼を行っており、広く市民の参加も呼びかける中で、市全体の防災力を向上させてまいりたいと考えております。

(2) 今後の見込み・市の考え方

近年、災害が激甚化・頻発化する中、限られた公助を補完する自助・共助の役割が、これまで以上に不可欠であると考えており、自助・共助・公助のそれぞれが災害への対応力を高め、互いに連携していくことが重要であると考えております。

引き続き、福知山公立大学との連携事業を着実に進める中で、市民一人ひとりの自助と共助に対する意識向上に努めてまいります。

担当課

総務部 危機管理・防災課